

1. ホームドア

①ホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

○現状：  
ホームドア整備の状況は、都内全19駅(泉岳寺駅除く)中、2021年3月末時点で3駅(16%)に設置済み。  
(設置駅:京急蒲田駅, 羽田空港第3ターミナル駅, 羽田空港第1・第2ターミナル駅)

○課題：  
ホームドア整備にあたり、事前のホーム補強やホームドア設置による狭隘箇所の解消等、調査や対応に時間が掛かるとともに多額のコストが必要となる。また、ホームドア本体も多額なコストがかかり、維持・メンテナンス等の費用も発生することから、設置する駅について、安全へ対する優先を考え精査する必要がある。当社は、国・地方公共団体・事業者と三位一体で整備を進めるものと考えており、関係者の協力のもと設置を進めていく。

○目標・取組の考え方：  
駅の利用者数が10万人以上を優先的に整備を実施、10万人未満についても、駅ホームにおけるさらなる安全性の強化を目的に整備を推進。  
下記以外の未整備駅についても、上記の方針に沿った検討を推進し、進捗に合わせてホームドア整備予定駅を追加していく。

②各駅の計画

<優先駅(利用者10万人未満)>

駅名	路線名	事業期間	優先整備の視点		整備状況 (2021年3月末時点)
			駅周辺の特性	駅の特性	
平和島駅	本線	2020～2021年度	福祉・医療、教育施設が集積	優等列車との乗換駅 島式ホーム・ホームが狭隘	整備中
北品川駅	本線	2029年度頃 (連立事業と合わせて実施)	福祉・医療、教育施設が集積		未整備

<利用者10万人以上駅>

駅名	路線名	事業期間	整備状況 (2021年3月末時点)
品川駅	本線	2029年度頃 (連立事業と合わせて実施)	未整備

2. エレベーター

①複数・乗換ルート整備に対する現状、課題、全体計画等

○現状：  
エレベーターの設置の状況は、都内全19駅(泉岳寺駅除く)中、全19駅(100%)に設置済み。複数・乗換ルート整備は、羽田空港第1・第2ターミナル駅を整備済み。

○課題：  
複数・乗換ルート整備にあたり、エレベーターの設置するスペースがないこと、鉄道施設の移設や用地取得等に多額のコストが必要になることが課題である。

○目標・取組の考え方：  
複数・乗換ルート整備について、バリアフリー法を基に当社にて検討を進める。

②各駅の計画

<優先駅(複数・乗換ルート)>

駅名	路線名	事業期間	バリアフリールートの整備予定	優先整備の視点		備考
				駅周辺の特徴	駅の特徴	
天空橋駅	空港線	2020年度	下り線ホーム～東京モノレール連絡改札口	複合施設が立地		整備済

<1ルート>

駅名	駅名	事業期間	バリアフリールートの整備予定	備考